



TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE

1-3 KAGURAZAKA, SHINJUKU-KU, TOKYO 162-8601, JAPAN
Phone: +81-3-3260-4271

2023年4月19日

報道関係各位

東京理科大学 2024年度総合型選抜（女子）を新設

東京理科大学（学長：石川正俊）は、2024年度入学試験より、新たな入試制度として「総合型選抜（女子）^{※1}」を新設します。これまでも取り組んできたダイバーシティ推進の動きをより加速させるとともに、女性の理工系分野への進学を積極的に支援することを目的に実施します。

本学は、1881年の創立以来、「理学の普及を以て国運発展の基礎とする」という建学の精神のもと、「実力主義」の言葉に象徴される質の高い教育を、性別や身分、国籍などを問わず実践してきました。国内唯一の夜間理学部を有し、学び直しなどの社会人教育にも力を入れるとともに、国内の学生だけでなく外国人留学生や帰国生に対する入学試験方式を整備し、積極的な受け入れを行っています。2020年4月には、工学部建築学科において「夜間主社会人コース」を新設するなど、多様な背景を持つ学生を積極的に受け入れるだけでなく、社会の要請に応える人材育成を展開しています。

一方で、本学は、これまでも多くの女子中高生に理工系の学問をより身近なものに感じてもらい、理工系進学の手助けとするため、2006年から理工系の職種に進んだ卒業生による講演やさまざまな実験を体験できる講座を実施してきました。この取り組みにより、2007年度から現在に至るまでに、志願者に占める女子学生比率を19.4%から23.6%（+4.2%）、入学者に占める女子学生比率を19.0%から25.0%（+6.0%）まで、高めることができました。

新設する本選抜方式は、近年、政府や産業界から理工系人材育成を求められる中、特に女性人材の拡大が求められる工学系分野で実施するもので、工学部全学科、創域理工学部^{※2}工学系6学科（建築学科、先端化学科、電気電子情報工学科、経営システム工学科^{※2}、機械航空宇宙工学科^{※2}、社会基盤工学科^{※2}）、先進工学部全学科、合わせて3学部16学科において一定数の女子学生募集枠を設けます。これにより、工学系分野における女子の進学を積極的に支援し、この分野により多くの視点や感性を取り入れ、多様な学生が学びあう環境を整備することで、新しい感性のもとでのイノベーション創出を促進します。

※1 文部科学省 入学者選抜要項 第2条2項「多様な背景を持ったものを対象とする選抜」

※2 2023年4月より名称変更

【総合型選抜（女子）実施概要】

1. 概要

女子志願者の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を総合的に評価する入学試験

2. 対象学部学科（全16学科）

工学部 建築学科、工業化学科、電気工学科、情報工学科、機械工学科

創域理工学部 建築学科、先端化学科、電気電子情報工学科、経営システム工学科、
機械航空宇宙工学科、社会基盤工学科

先進工学部 電子システム工学科、マテリアル創成工学科、生命システム工学科、
物理工学科、機能デザイン工学科

3. 出願要件

次の（1）～（4）をすべて満たすこと。なお、学校推薦型選抜との併願は不可とする。

（1）高等学校又は中等教育学校を 2024 年 3 月卒業見込の女子。

（特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を含む。）

（2）高等学校（中等教育学校）最終学年第1学期又は前期までの数学および理科の評定平均値がそれぞれ 4.0 以上であること。

（3）志望する学科の指定する科目（※）をすべて履修していること。

※原則として、B 方式で出題範囲として示している科目とする。

（4）出願する学部学科への入学を第一志望とし、合格した場合に入学することを確約できる者。

4. 募集人数

各学科 3 名、合計 48 名

5. 選考日程

出願期間	2023年9月5日（火）～9月7日（木）
選考日	10月7日（土）（※）
合格発表	11月3日（金）

※10月7日（土）および、10月14日（土）に実施する場合があります。

【東京理科大学におけるダイバーシティ推進に関する取り組み】

本学は、2031年に迎える創立150周年に向けて、「TUS VISION150」を掲げ、2022年にはそのマイルストーンとなる「中期計画2026」を策定し、世界レベルのリーダーとして活躍できる人材の供給や、世界各国から集う人材による自由闊達な議論の下、世界をリードする研究拠点となっていること等、「世界の未来を拓く TUS」へ発展していくことを宣言しました。ここに示すグローバル拠点を標榜する本学においては、多様性あふれる人材の結集と、ダイバーシティが充足した環境基盤の構築が不可欠であると考えています。本学ではSDGs（2015年）に先駆けて、2006年に「自然・人間・社会とこれらの調和的発展のための科学と技術の創造」を教育研究理念として宣言し、2013年には「女性活躍推進会議」（2019年にダイバーシティ推進会議に改組）を発足させ、SDGsの5番目の目標である「ジェンダー平等を実現しよう」を国内の大学においていち早く取り組み、女性人材の育成・支援・登用を改革の柱と位置付け、積極的に推進してきました^{*3}。総合型選抜（女子）を新設することにより、理工系分野での女性の学びをより一層促進し、女性の視点からものづくりに挑戦し、新たなイノベーションを創出する女性人材の育成、並びにDE&I（Diversity 多様性、Equity 公平性&Inclusion 包括性）の実現に取り組んでまいります。

※3 [学校法人東京理科大学におけるダイバーシティ推進のための行動指針（概念図）](#)

【本件に関する問い合わせ先】

東京理科大学 経営企画部 広報課

MAIL : koho 【@】 admin.tus.ac.jp

※ 【@】 は@にご変更ください。